

令和8年度第1回木津川市文化財保護審議会 議事録抄録

- 日 時 令和8年8月7日（金）14時30分～16時45分
- 場 所 木津川市役所4階 会議室4-4
- 出席者 審議員 源城政好、増井正哉、宗田好史、高橋克壽、岩井共二、三浦孝啓、
浅田兼弘、森本幸治、浅井克悦、鐘江嘉彦
事務局 竹本教育長、平井教育部長、松井教育部次長兼文化財保護課長
文化財保護課 八田総括専門官、永澤課長補佐、大坪係長、北畑主事
傍聴者 0名

1 開会

2 教育長挨拶

3 議事

・報告 令和7年度文化財事業報告および令和8年度文化財事業計画について

報告資料1「主な文化財関係事業の令和7年度報告及び令和8年度計画について」により説明。

●令和7年度文化財事業計画

(1)文化財補助金の交付

・国指定文化財保存修理事業

重文厨子入木造普賢菩薩像（岩船寺）修理（2年目）

重文木造薬師如来坐像（西明寺）修理

重文小林家住宅保存修理強化対策

・府指定・登録文化財等補助事業

府指定文化財絹本著色五智如来像（大智寺）修理（2年目）

府暫定登録文化財木造釈迦如来及び両脇侍像（常念寺）修理

府暫定登録文化財絹本著色釈迦如来像ほか2件（海住山寺）修理

・社寺等文化資料保全補助事業

国登録有形文化財吉岡家住宅（主屋）防災対策

市指定文化財神童寺表門木部等修理

市指定文化財和伎座天乃夫岐壳神社表門屋根等修理

重要無形民俗文化財涌出宮宮座行事道具（提灯）新調

森八幡宮社務所床等修理

徳念寺本堂向拝修理

(2)啓発事業

・令和7年度木津川市ふれあい文化講座 全3回 各回2講座ずつ実施

(3)史跡恭仁宮跡

・公有化 令和7年度公有化完了3筆 面積2,212㎡（累計110,501.74㎡）

- ・京都府と木津川市による実行委員会：史跡「恭仁宮跡」活用事業実行委員会による「恭仁宮跡イマーシブコンテンツ創出等事業」として「恭仁宮ハック」「恭仁京フェスタ」の実施

- ・特別史跡意見具申書 令和7年8月22日付け文部科学大臣あて提出
令和7年12月19日特別史跡指定を文化審議会が答申
令和8年2月17日特別史跡指定

(4)史跡椿井大塚山古墳防災施設整備事業

- ・5ヶ年事業の4年目。なお、計画期間は現在6か年に延長
くびれ部の地点③（ジオセル工法） 令和6年度から予算繰越により完了
前方部西側の地点①－1（高木伐採、EPM工法による法面保護）
以上により整備対象6地点のうち5地点で完了
後円部南側の地点④（最終施工地点）で現状変更判断調査、実施設計、高木伐採等

(5)文化財公開管理施設

- ・旧山城学校給食センターの改修による文化財公開管理施設への転用の方針決定
- ・文化財整理保管センター分室（くにのみや学習館）耐震診断実施、対策が必要との診断結果

(6)塚穴古墳横穴式石室への門扉設置と公開

普段は立入を制限して保存を図り、希望者にはボランティアガイド「ふるさと案内・かも」との連携協力により見学の便宜を図る。

(7)建造物調査の実施

旧三町成立以前の公共建築物として現存する瓶原公民館（旧瓶原村役場）と椿井区公民館（旧高麗村役場）の2件と、三谷家住宅（上粕）の計3件の調査を、古材文化の会に委託して実施

●令和8年度文化財事業計画

(1)文化財補助金の交付

- ・国指定美術工芸品保存修理事業
重文木造薬師如来坐像（西明寺）修理（2年目）
重文木造薬師如来坐像（高田寺）修理
重文小林家住宅保存修理強化対策（2年目）
重文相楽神社本殿檜皮葺屋根葺替等修理
特別名勝・史跡浄瑠璃寺庭園墓所周辺整備
- ・府指定・登録文化財等補助事業
府暫定登録文化財絹本著色釈迦如来像ほか2件（海住山寺）修理（2年目）
府登録文化財岡田国神社拝殿屋根等修理
- ・社寺等文化資料保全補助事業 近世絵画2件の修理事業に対する補助を予定

(2)啓発事業

- ・令和８年度木津川市ふれあい文化講座 全３回実施の予定
うち第１回は５月３１日に恭仁宮跡や恭仁京城をテーマに実施、217 人の参加

(3)特別史跡恭仁宮跡

- ・公有化 令和８年度公有化予定１筆 面積 187.69 ㎡（住宅の移転補償を伴う）
恭仁宮跡西方官衙地区、山城国分寺西面築地堀跡あたり
- ・「特別史跡」指定を示す石製標識の設置及び案内看板文字表示部分取替え
- ・史跡「恭仁宮跡」活用事業実行委員会（京都府・木津川市）による歴史体験イベントの開催等
- ・令和７年度公有化地等の仮整備 盛土を行い本格整備まで可能な範囲で活用
- ・文化財整理保管センター分室「くにのみや学習館」改修工事実施設計着手
令和７年度耐震診断の結果をうけ、恭仁宮跡ガイダンス施設としての機能向上を図る。
- ・恭仁宮跡保存範囲周辺「恭仁宮関連遺跡」の試掘調査
恭仁宮跡活用整備の構想に向けて、施設整備の可能性検討のための調査

(4)史跡椿井大塚山古墳防災施設整備事業

- ・６ヶ年事業の５年目。後円部南側の地点④工事施工予定地の公有化

(5)文化財公開管理施設

- ・旧山城学校給食センターの改修による文化財公開管理施設への転用のための工事実施設計、契約発注済。
あわせて、木津川市所有・保管遺物の再整理・仕分け作業開始

報告資料２「令和７年度中の新指定等文化財について」により説明。

- ・京都府暫定登録文化財４件（うち２件が恭仁京時代の遺跡の出土品、１件が恭仁小学校所蔵恭仁宮関係資料、以上は恭仁宮跡の特別史跡指定にちなむもの。）
- ・市指定文化財４件（うち新指定３件、追加指定１件）
- ・海住山寺所蔵の阿弥陀浄土図を重要文化財に指定するよう令和８年３月２６日付けで文化審議会が答申。間もなく指定の見込み。

（質疑応答）⇒：審議員 →：事務局 （意見）・〇〇～

- ⇒ 令和７年度の補助金交付実績と、令和８年度の補助金交付予定額が、ともに約１千万円。それぞれの補助金額の決め方は。一定の予算枠の中での配分か。
- ⇒ ここに書き上げたものの各年度合計が近い額となっているが、列記したもののほかに自動火災報知設備の点検費や樹木の手入れといった維持管理費も、府の補助対象となるものには市も随伴補助を行っており、これらを含めて令和７年度の補助金交付総額は 14,479 千円、令和８年度の現時点での交付決定総額は 13,778 千円であるが必要見込み額

は約 17,000 千円となっており、不足の際には補正で予算の増額をお願いするなど、要綱どおりに補助金を交付できるよう努めている。

- ・ 文化財の維持管理や修理に、人的サポートも含めてできるだけの支援をしているのはよいこと。説明で文化財に関する取組をたくさんやっていることはわかるが、地元や市内での理解を促進するためには、成果の見せ方が大事。抛り所として文化財保存活用地域計画もあり、地域のニーズがあって、こういう成果があった、というようなプロモーションをすべき。森八幡宮社務所や涌出宮表門の修理のように、景観上においても重要な取組もあったことなど、効果的な報告の表現を望む。
- ・ 恭仁宮跡の特別史跡指定で、歴史まちづくり法を見通す時期かと考える。城下町や門前町での事例が先行し、史跡がこれに続いているが、木津川市でも「恭仁京を中心としたまちづくり」を期待したい。府立山城郷土資料館のリニューアルも含め、奈良と京都の間という立地を生かし、文化財行政の活性化を図られることを望む。
- ・ 行政関係者用資料は、市民が目にする機会は少ないので、ふれあい文化講座の機会に市の文化財行政の成果を 10 分でもお知らせするなど、市民への浸透を図る工夫を望む。
- ・ 税収が増加するなど木津川市の財政はよいので、文化財行政も着々と丁寧に進められたい。古材文化の会やガイドの会との連携協力は大事なこと。「ふるさと案内・かも」からも、休憩所やトイレの要望をお聞きしている。

⇒ 修理完了後の公開案内や、ふれあい文化講座での紹介などに取り組んでは。

→ 広報誌で文化財を紹介する連載を行っており、修理後の特別公開の機会など、取り上げるタイミングを考慮している。また、和伎座天乃夫岐売神社表門の修理に際して葺き替えられた瓦を借用し、表門の建立や修理の履歴などにかかわる資料としてデータをとっているところで、整理後に市役所庁舎の展示ケースでの紹介などを検討している。

・議題 令和 8 年度市指定文化財の指定、市登録文化財の登録について

〈本議題については、非公開により進行〉

議題 その他 特になし。

4 その他 次回の審議会は、1 月～2 月を目途に開きたい。

5 閉会